

【目指す姿】本県における学校教育の情報化に向け、目指す姿を定める。

あらゆる教育活動において、児童生徒と教職員がデジタル学習基盤を効果的に活用するなど、リアルな学びをデジタルで支えることにより、児童生徒の情報モラルを含む情報活用能力を育成するとともに、主体的・対話的で深い学びを促す教育が実現している。

【現状・課題】目指す姿の実現に向け、現状と課題を整理した。

児童生徒	<ul style="list-style-type: none"> いずれの学校においてもデジタル学習基盤の活用が進んでいるが、より効果的な場面におけるデジタル学習基盤の活用を推進することが必要 生成A I等を含む情報技術の特性の理解と併せて、デジタル技術を適切に取り扱う基になる情報モラルやメディアリテラシーを育成することが必要
教職員	<ul style="list-style-type: none"> 教員のデジタル活用指導力について、「スキルを習得する段階」から「デジタル学習基盤を効果的に活用した授業改善」への移行を推進することが必要 より一層の研修の充実を図り、学校や教員の間で、デジタル活用の意義の理解や活用状況にばらつきが生じないように取り組むことが必要
環境整備	<ul style="list-style-type: none"> 各家庭の状況や児童生徒の多様な教育的ニーズへの配慮も踏まえ、適切なデジタル学習基盤の環境整備を行っていくことが必要 クラウドサービスなどの活用が進むため、児童生徒が円滑に学ぶことができるよう、高速ネットワークへの切替など、安定した通信環境の確保が必要
校務	<ul style="list-style-type: none"> 生成A Iの活用など次世代校務DXの推進により、教職員の働き方改革の更なる加速化を図ることが必要 教職員の異動や児童生徒の転校・進学の際のデータ連携を可能とするなど、事務手続の負担を削減・軽減することが必要

【基本方針】現状と課題に対応するため、4つの基本的な方針を示す。

デジタル学習基盤を活用した児童生徒の資質・能力の育成	教職員のデジタル活用指導力の向上	デジタル学習基盤を活用するための環境整備	デジタル活用による校務の改善
<ul style="list-style-type: none"> デジタル学習基盤を効果的に活用し、個別最適な学びと協働的な学びを充実させるカリキュラムマネジメントや授業改善による児童生徒の資質及び能力の育成 健康面の影響に配慮し、教科等の中で、生成A I等を含む情報技術の仕組みや背景等の特性の理解と併せて、情報モラルやメディアリテラシーの育成 	<ul style="list-style-type: none"> 各教科等で育成を目指す資質・能力等を把握した上で、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善に対応できるデジタル活用指導力の向上 あらゆる教職員がデジタル学習基盤を授業で活用するため、市町立学校及び県立学校の教職員向け研修等を実施するとともに、校内研修を充実 	<ul style="list-style-type: none"> 時間や場所にとらわれずデジタル学習基盤を効果的に活用した学びを可能とするため、一人1台端末の着実な整備及び更新を進め、必要なネットワーク速度を確保するなどの環境づくりを推進 安全にデジタル学習基盤を活用できる環境を整備し、学校における情報資産の適正な取扱い及び情報セキュリティを確保 	<ul style="list-style-type: none"> 汎用クラウドツールや生成A Iの積極的な活用を推進するため、県及び各市町が連携し、次世代校務DXに関する先進的な取組の共有や課題解決に向けた情報交換、研修などを実施 教職員の異動や児童生徒の転校・進学の際のデータ連携を可能とするため、統合型校務支援システムの整備を推進